
「天然食品成分による口腔癌幹細胞抑制メカニズムの解析：

効果的口腔癌治療を目指して」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体や診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、明海大学歯学部倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2004年1月1日から2022年10月31日の期間に埼玉医科大学病院 歯科・口腔外科を受診し生検の結果、口腔がんと診断された患者さんを対象とし、患者さんの生検組織あるいは未治療の組織サンプルの残余検体を研究対象としております。

2. 研究の目的

多くの悪性腫瘍の増殖における癌幹細胞（癌になりやすい細胞）の関与については活発に研究されていますが、口腔癌における癌幹細胞の機能についてはいまだ明らかにされていません。最近、自然食品に含まれるポリフェノールが癌幹細胞の目印である癌幹細胞マーカーの活性を抑制することにより肝細胞癌や大腸癌の増殖を抑制することが報告されました。もし、口腔癌においても同様に癌幹細胞マーカーの活性が亢進しているのであれば、ポリフェノールが口腔癌の抑制について効果的である可能性が考えられます。そこで本研究課題では、細胞あるいは組織切片を用いて口腔癌の発生・増殖・進展における癌幹細胞マーカーの関与を明確にし、ポリフェノールによる口腔癌の増殖抑制効果を調べることを目的とします。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027年08月30日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

試料（検体）：染色済みの組織標本（残余検体）

情報（診療データ）：年齢，性別，発生部位，TNM分類，Stage分類，組織学的分化度

※この研究で得られた患者さんの試料・情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である佐藤 毅が、個人が特定できないようにした後、研究機関である明海大学に送付いたします。

そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

口腔がんと診断された患者さんの検査、手術を実施した際に生じた残余検体、検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

明海大学口腔生物再生医工学講座生化学分野 講師 福田 正勝（研究代表者）

4. 試料・情報の管理責任者

＜提供元機関＞ 埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

＜提供先機関＞ 明海大学 学長

5. 試料・情報の提供について

患者さんの試料・情報は、埼玉医科大学病院において個人が特定できないようにした後、研究機関である明海大学に送付いたします。研究結果は明海大学で取りまとめられ、学会発表や、学術雑誌に論文発表される予定です。

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 歯科・口腔外科 佐藤 毅

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38 番地

電話：049-276-1307（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：天然食品成分による口腔癌幹細胞抑制メカニズムの解析

：効果的口腔癌治療を目指して

○研究責任（代表）者：明海大学口腔生物再生医工学講座生化学分野 講師 福田 正勝